

ななくり

The goal of our education is to clear 70 points in total

田迎小学校 学校だより
文責 藤本
第 3 号 2021.06.10



学校教育目標

創造性のタネをもち、自律する未来人の育成(その2)

学校教育目標についての2回目です。

(自己肯定感)と密接な関係にあることがわかります。

自律する未来人~Autonomous future people

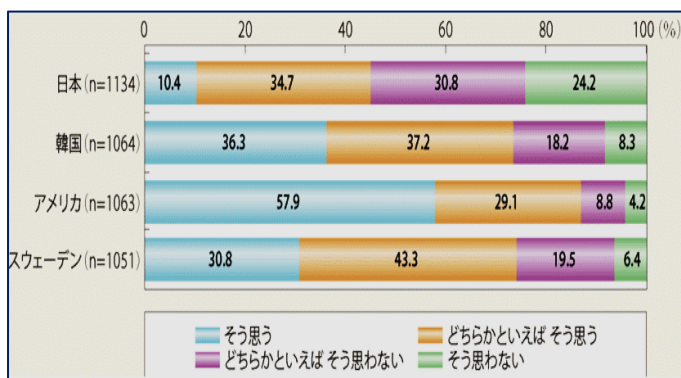
- ① 自己肯定感・・・「無条件で自分が好き」
- ② 自己有用感・・・「自分は誰かの役に立っている」
- ③ 主体性・・・「自分で決める・見つける・やってみる」
- ④ 道徳性・・・「ルールとモラル」
- ⑤ 協働性・・・「コミュニケーションスキル」

これらの2感3性について説明していきたいと思います。

① 自己肯定感・・・「無条件で自分が好き」

「日本の子どもは諸外国に比べ自己肯定感が低い」と言われてずいぶん経ちました。

【自分自身に満足している】



(令和元年度版 内閣府 子供・若者白書より)

文化の違いもあるでしょうが、日本の場合、「減点式」で評価されることが多いため、ミスを非常に恐れ、他人と同じでありたいと思ってしまうのかもしれない。

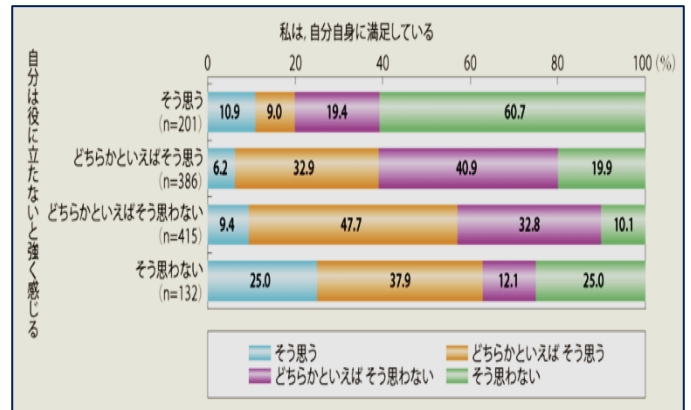
「できないことを嘆くより、できることを考える」というのはコロナ禍における私たちの考え方の新様式になりました。このような「加点式」で子どもたちを見ていくことが、自己肯定感を高める上でも大事だと考えます。

② 自己有用感・・・「自分は誰かの役に立っている」

次のグラフも出典は同じですが、①の項目に【自分は役に立たないと強く感じる】という項目をクロス集計したものです。

その結果、『日本の若者は、自分が役に立たないと強く感じている者ほど自分自身に満足している者の割合が低かった』ことがわかりました。

しかも、『同様の関係は諸外国の若者の意識には認められなかった』というのです。日本では、誰かの役に立つと感じること(自己有用感)が自分自身を認める



本校では、特別活動(学級での係活動や学校全体の委員会活動など)での集団へのかかわりを増やす機会を大事にしていきたいと思います。

先月、下校途中で強い雨風にあい、肥後銀行田迎支店に数名の子どもが「避難」させていただくことができました。そこに誘導していただいた PTA の方、快く店内の一角をお貸しいただいた銀行のみなさまには感謝の一言しかありません。

翌日、ある保護者の方からお便りをいただきました。(一部改変)

いつもお世話になっております。

昨日は運悪く学校から帰宅する途中で暴風雨になり、心配で迎えに行ったところ、数名の児童とともに肥後銀行の方々に保護されておりました。

我が子が言うには、姉や上級生たちが下の子を守りながら銀行まで歩いてくれたとのことで、子供たちなりに下級生を守ろうとする姿勢に成長と感謝を感じました。

(この後は、地域の方への感謝や登下校中の身の安全を守る方法を考える大切さについてお話をされたことが綴ってありました。)

こんな心優しい子供たちを学校・家庭・地域で育てていきたいと思っています。

- ③ 主体性・・・「自分で決める・見つける・やってみる」
- ④ 道徳性・・・「ルールとモラル」
- ⑤ 協働性・・・「コミュニケーションスキル」

の3性については、次号でお伝えします。

【お知らせとお願い】

- 1) 6/25 に予定していた授業参観は 7/9 へ延期します。
- 2) 児童の安全確保と近隣の交通渋滞緩和のために(雨の日の)自動車による送迎はご遠慮ください。